

1200万署名・NPT代表派遣 News

発行：原水爆禁止日本協議会 電話：03 5842 6031 FAX：03 5842 6033

Eメール antiatom55@hotmail.com 2010年1月12日 No.24 NPTまであと111日

北から南まで新春6・9行動

「6・9行動」300回記念式一大阪・岸和田原水協

岸和田原水協は1月9日、南海岸和田駅頭で「6・9行動」300回記念式を開催しました。

小瀧悦子岸和田原水協理事長が、「1985年2月から開始して以来25年間6・9行動を続け、今回で300回を数えることができた。核兵器廃絶まで続けていきたい」と挨拶。

野口聖市長の代理として出口修司副市長が、「300回記念という取り組みに深く敬意を表す。本市も市民参加の平和事業を継続し、核兵器廃絶と恒久平和を訴えていきたい」と決意を表明しました。

式終了後も、8団体・約60人が風船やピラを配りながら午後2時まで行動にとりくみ、ちょうど100筆の署名が寄せられて08年9月からの累計で8300筆に達しました。また、1400円余のカンパが寄せられました。



あいさつする小瀧協理事長（右）。左は出口副市長

うたごえ・ニューヨーク派遣代表とともに宣伝一愛知



91筆の署名と1500円の募金が寄せられました。

なお、元旦行動は、愛労連、新婦人など25人で行動し、124筆の署名と1234円の募金が寄せられました。

第2回「県下一斉署名活動」で3144筆 宮崎

宮崎県原水協は9日、19ヶ所で第2回「県下一斉署名活動」にとりくみました。17団体（新婦人、医療生協、原水協、平和委員会、共産党、民商、年金者組合、東大宮9条の会、革新懇、建交労、県労連、県国公、公企労、コープみやざき労組、小林9条の会、国民救援会、教職員OBの会）から120人が参加して合計3144筆の署名が集約されました。



最新情報はコチラ 原水協通信 blog | <http://www.antiatom.org/g-news/>
携帯電話からもアクセスできます。

清水寺6・9行動で幕開けー京都

京都原水協は1月6日と9日、新春恒例となっている京都教職員組合女性部との合同の「清水寺6・9行動」を行いました。

6日の行動に参加した教員と退職教員の2人がNPT代表派遣への参加を表明しました。

「何をしてるの?」と近寄ってきた若い女性は、署名内容の説明を聞いて、「すごい。これならみんな賛成してくれる」と言って家族全員の名前をサイン。また、その場で携帯で彼氏、知り合いに住所を確かめ、12人の名前を書いてくれました。(写真)

行動には、3人の被爆者、6人のNPT代表をはじめ京教組女性部、退職教職員、宗平協、平和委員会、新婦人、京都原水協事務局から2日間で61人が参加し、「核兵器のない世界を」署名413筆、募金9250円が集まりました。



ニューヨーク横断幕に思わず振り返る人もー青森



八戸原水爆禁止の会は1月6日、9日6・9行動を行いました。

コープあおもりるいけ店の入り口での6日の行動には八戸医療生協のメンバー中心に5人が参加し、被爆写真を持ちながら、あるいはチラシを配りながら「NPT再検討会議が開催される今年、核兵器廃絶の願いを署名に託しましょう」と呼びかけました。

机に飾った「あなたの署名をニューヨークへ」という横断幕に思わず振り返る来店者もあり、注目を集めました。

9日は、三春屋前で新春宣伝として全労連のティッシュ配りの後で6・9行動に切り替えました。偶然通りかかった方も参加し4人で行動しました。

「核兵器はいやですよ」と行動準備中にさっそく署名 茨城

茨城県原水協は1月6日、水戸駅北口と南口で新春6・9行動を行いました。北口のペディストリアンデッキには、著名人顔写真入り大判幕、のぼり旗、原爆写真パネルなどを並べ、マイクで署名を訴えました。

行動の準備の最中から、のぼり旗を見た中年の女性3人グループが「核兵器はいやですよ。いい署名ですね。アメリカに持って行くのですか。お金も必要でしょう。少しですがカンパもします」と言ってさっそく署名をしていました。参加者1人ひとりが持つ「顔」ポスター付き署名板のところには「父親が広島で被爆しました」という人や、「署名? やっていきようよ」と誘いあう女子高生4人グループ、「オレもやるからお前もやれよ」と友達に呼びかける20代の若者など次々と署名に応じていました。

行動には12人が参加し、2時間の行動で209筆と3060円のカンパが寄せられました。

お年玉袋に2000円のカンパを入れて差し出す人も 岩手

岩手県原水協は6日、盛岡市の野村証券前で今年最初の6・9行動を行いました。いわて労連の鈴木露通議長、参加者らが「核兵器のない世界を」署名への協力を呼びかけました。

鈴木氏らは、5月にニューヨークの国連本部で開かれる核不拡散条約(NPT)再検討会議にむけて、世界の反核平和団体が署名を進めていることを紹介、「みなさんの署名もNPT再検討会議に提出します」と訴えました。

36歳の女性は「(核兵器廃絶のために)ぜひこの署名をいかしてほしい」と話しました。お年玉袋に2000円のカンパを入れて差し出す人もおり、40分間で41人が署名を寄せました。

